

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	敷地計画論 [Site Planning]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング
科目コード	235800	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	関西 剛康				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(2) DP3(5)	
授業概要	<p>本授業の目的は、住宅庭園ならびに都市公園・都市緑地の造園空間を対象に、それらを整備するために必要な調査・計画・設計に関する基本的な知識と技術を習得するための授業です。</p> <p>本授業を習得することにより、住環境と都市公園や都市緑地の整備計画に関する緑化を中心とした学際的な設計原理ならびにその実務的知識の修得が図れます。</p> <p>また、教員は技術士(総合技術監理部門、建設部門:都市及び地方計画)やRLA等の専門資格を有し、造園設計事務所において国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画した20年間の経験があります。そのキャリアを含めて、教員が実際に計画設計した造園作品の具体的な事例を解説しながらも、授業を進めます。</p>						
関連する科目	<p>本授業の履修より前には「造園植栽論」「庭園学」「庭園学演習」「世界の庭園と歴史」を、本授業と同時に「敷地計画論演習」を、本授業の履修後には「都市緑地論」「都市緑地論演習」を受講することが望ましい。</p>						
授業の進め方と方法	<p>テキスト代わりに配布するプリント資料(第1～4章で構成、約80頁)と、パワーポイントによるスライド(私関西の計画設計した造園作品もいくつか使用)をもとに授業を進行します。履修者に順番にテキストを音読してもらい、教員が解説を行う方式で授業をします。テキスト内の重要なキーワードは穴埋め式となっており、授業進捗に伴いスライド上で示して伝えます。授業時間外には1～4章ごとに4つのレポート作成があり、復習の意味を込めて学習した内容を全般的に書き込んでもらいます。学期末には、1～4章ごとにレポート提出をしてもらい、その内容を評価に反映します。</p>						
授業計画	<p>はじめに</p> <p>第01回:はじめに ガイダンス(敷地計画論の概要) 講義全体の概要、評価方法について説明をします。</p> <p>第1章 エクステリアの基本概念</p> <p>第02回:エクステリアとは?、エクステリアの基本構成</p> <p>第03回:エクステリア・プランのプロセス</p> <p>第04回:敷地の調査と分析、基本計画(マスタープラン)の策定、庭園の種類 エクステリアの基本的な構成や調査・分析について学びます。</p> <p>第2章 エクステリア・プランの専門的知識と技術</p> <p>第05回:門廻り(前庭部)</p> <p>第06回:駐車場・駐輪場(前庭部)</p> <p>第07回:アプローチ(前庭部)</p> <p>第08回:囲い(外周部)、その他・住宅付属施設等について エクステリアを計画するための知識と技術を学びます。</p> <p>第3章 都市公園・都市緑地の基本知識</p> <p>第09回:公園や緑地の役割について、公園や緑地の必要性について</p> <p>第10回:公園等の種類と配置基準について</p> <p>第11回:住区基幹公園、都市基幹公園、その他の公園や緑地について、参考資料 都市公園や都市緑地に関する基本的な知識を学びます。</p> <p>第4章 都市公園・都市緑地の専門的知識と技術</p> <p>第12回:公園や緑地の計画・設計業務について</p> <p>第13回:基本的な計画・設計について</p> <p>第14回:造成の設計、園路の設計</p> <p>第15回:階段・スロープの設計、休養施設の設計 都市公園や都市緑地に関する設計基準や施設内容について学びます。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.造園空間における敷地計画ができる専門職業人としての自覚・意欲を修得【態度・志向性の育成】 2.造園空間における敷地計画ができる資質・能力を学び、その実践に向けた自己の課題を把握【自己管理能力・生涯学習力】 3.造園の専門職業人として、造園空間における敷地計画を理解し、敷地計画ができる方法を修得【職業知識・技能の育成】 						
授業時間外の学修	<p>授業内で配布するテキスト資料や参考書等を授業前に読んでおき、さらに授業後に理解を深めるために再度精読すること。そして、各章の終了後にはレポート(第1～4章)を作成すること。また、造園学の分野がどのようなものであるかを理解するため、授業中に紹介する身近な造園空間を訪問したり、全国的著名な庭園や公園緑地に関わる資料や図版等を見ておくこと。予習復習1時間程度。</p>						
課題に対するフィードバック	提出レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。			評価方法		1.各章の提出レポートの評価(100点) 2.授業への取り組みも評価(授業態度によってはマイナス評価も行う)	
テキスト	<p>テキストは、授業の進捗にあわせてプリントを配布(A4コピー資料は約80頁、各自で紙ファイルやクリアファイルに綴じ込むことが望ましい)。</p>						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1.『エクステリアプランナーハンドブック』建築資料研究社 2.『公園緑地マニュアル』一般財団法人日本公園緑地協会 3.『ランドスケープデザインの歴史』学芸出版社 4.『ランドスケープ計画・設計論』技法堂出版 など 						
備考							